

講義科目名称： 基礎看護学援助論Ⅱ

授業コード： 6630200300

英文科目名称： Advanced Fundamental Nursing Ⅱ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1・2学年	2単位	選択
担当教員			
◎岡村典子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 通年	【授業時間】 30時間	
	【担当教員】 氏名	【研究室】	【メールアドレス】
	◎岡村 典子	216	norio@niigata-cn.ac.jp
	堀江 正男	315	mhorie@niigata-cn.ac.jp
	川島 良子	206	kawasima@niigata-cn.ac.jp
	【本学の科目区分】 専門分野		
	【DP1】	【DP2】	【DP3】
	○	◎	○

到達目標	基礎看護学援助論Ⅰにて取り組んだテーマについて、 1. 今後の展望、及び課題克服に向けた研究方法について探索し説明できる。 2. 看護実践における研究の必要性について説明できる。
------	---

授業概要	基礎看護学援助論Ⅰにて取り組んだテーマについて、今後の展望、及び課題克服に向けた研究方法について検討する。今後の展望については、対象の QOL の向上、及び看護の質向上を念頭に検討する。また、研究方法については、基本的な理解とともに、文献の講読およびクリティークを通して理解を深める。さらに、看護実践と研究の関係、及び研究の必要性について検討する。
------	--

授業計画	1	授業内容 授業形態：講義・プレゼン・討論 学修課題：当科目のオリエンテーション ・基礎看護学援助論Ⅰにて取り組んだテーマについて 「①今後の展望を検討」 「②課題克服に向けた研究方法の検討」 ・援助論Ⅰにて取り組んだテーマの振り返り 学修内容：①今後の展望を検討する視点 ・対象のQOLの向上 ・看護の質向上 ・取り組んだテーマ、内容、学修における課題 備考：岡村
	2	授業内容 授業形態：プレゼン・討論 学修課題：援助論Ⅰにて取り組んだテーマの振り返り、プレゼンテーション 学修内容：取り組んだテーマ、内容、学修における課題について、資料を作成する 備考：岡村
	3	授業内容 授業形態：講義・討論 学修課題：取り組んだテーマについて、今後の展望 学修内容：・取り組んだ内容について、どうあることが望ましいのか ・そのことを明らかにする、実証するためにはどんな研究方法があるのか 備考：岡村
	4	授業内容 授業形態：プレゼン・討論 学修課題：取り組んだテーマについて、今後の展望に関するプレゼンテーション 学修内容：今後の展望に関して、資料を作成する 備考：岡村
	5	授業内容 授業形態：講義・討論 学修課題：基礎看護学援助論Ⅰにて取り組んだテーマについて「②課題克服に向けた研究方法の検討」 学修内容：取り上げた研究方法の基本的理解の確認 備考：岡村
	6	授業内容 授業形態：講義 学修課題：実験研究の実際① 学修内容：他分野の実験研究を通して、研究方法の理解を深める 備考：堀江

	7	授業内容 授業形態：講義 学修課題：実験研究の実際② 学修内容：看護における実験研究を通して、研究方法の理解を深める 備考：川島
	8-9	授業内容 授業形態：プレゼン・討論 学修課題：研究方法の探求① 学修内容：6・7回目の講義を受講して、実験研究に関して資料を作成する 備考：岡村
	10-11	授業内容 授業形態：討論 学修課題：研究方法の探求② 学修内容：実験研究に関する研究論文の講読、クリティーク 備考：岡村
	13-14	授業内容 授業形態：講義・GW 学修課題：看護実践と研究について① 学修内容：1-12回までの内容を基に、下記の点について、文献・資料等を用い自身の意見をまとめる ・看護実践と研究との関係 ・看護実践における研究の必要性 備考：岡村
	15	授業内容 授業形態：プレゼン・討論 学修課題：看護実践と研究について② 学修内容：13・14回目の課題について資料を作成し、プレゼンする 備考：岡村
事前・事後学習	事前学修：基礎看護学援助論Ⅰにて学修した内容を振り返る。 事後学修：看護実践と研究の関係を踏まえ、実践の中から研究課題を見出す。	
評価方法、評価基準	到達目標1については、2回目、4回目、8・9回目の課題資料（30%）、プレゼンテーションの内容（30%）にて評価する。 到達目標2については、15回目の課題資料（20%）、プレゼンテーションの内容（20%）にて評価する。	
テキスト	随時、資料を提示しながら進めるとともに、必要な書籍・文献等は授業内で案内する。	
参考図書・資料等	参考文献・資料は、各自が検索・収集する。	
受講、課題、資料配布等のルール	初回開講時に説明する。	
教員からのメッセージ	基礎看護学援助論Ⅰにて各自が取り組んだテーマについて、さらに深めるとともに、その過程を通して看護実践と看護研究の関係について理解を深めましょう。	
オフィスアワー	事前にメールにて問い合わせ。	